

海女の魅力再考!

海女学 講座Ⅲ

鳥羽・志摩の海女は、なぜ人を惹き付けるのでしょうか。

これまでの海女学講座では、主に歴史や民俗、水産の分野から海女を論じてきました。

今年度は文学や芸術の面も加えて、改めて海女の魅力を考えます。

1 11/21(土) 松月 清郎(ミキモト真珠博物館館長)
真珠と海女の文学

2 12/ 5(土) 松田 浩一(三重大学生物資源学研究所教授) ※12/19のみ、13:30~16:30開催
水産資源の管理とこれからの海女漁

3 12/19(土) シンポジウム「各地の海女と海藻漁」※海女研究集会を兼ねて開催します。

齋藤 典子(名古屋工業大学非常勤講師)

潜水漁を行う日・台・韓の海人の漁撈形態から考える海洋資源の利用と保護

4 藤川 美代子(南山大学准教授)

「よい石花菜」をめぐる解釈の多様性—台湾東北角における「海女の民俗」の共同研究からみえてきたこと

5 塚本 明(三重大学人文学部教授・海女研究センター)

近世志摩海女の手づね漁の特質

※開催時間は13:30~16:30です。終了後に鳥羽市内で懇親会を予定しています。

6 1 / 9(土) 劉亨淑(韓国東義大学校教授)

日本と韓国の海女観光比較

7 1 /23(土) リンダ・デニス(女子美術大学准教授) 石原 真伊(海の博物館事務局長)

海女の生き方に魅了されるアーティストたち

8 2 / 6(土) 大野 愛子(石鏡海女・フォトグラファー) 塚本 明 吉村 真衣(三重大学海女研究センター)

石鏡の古写真を語る—海女関係アーカイブ事業報告を兼ねて

会場：鳥羽市立海の博物館
映像ホール

日時：各日 土曜日
13:30~15:00

※12/19のみ、13:30~16:30開催

当日参加歓迎

入 場
無 料

